

# ほ場整備地区での取組が広がっています

令和七年六月、県営ほ場整備事業「猿田西地区」（秋田市上北手）の事業推進委員会において、田んぼダムを紹介しました。

本地区は今年度の新規採択地区で、令和八年度以降に行う区画整理工事に先立ち、近隣の四ツ小屋地区および仁井田地区で取組が拡大している田んぼダムについて、目的や構造のほか、広域的な取組により得られる効果を推進委員へ説明を行いました。（写真1）

推進委員からは、取組むことによる営農への影響などについて質問が生まれ、取組の無償により水稲の品質に差が生じないことを説明し、理解を得ることができました。

これにより、本地区では田んぼダムに取り組むことが決定し、大雨時における猿田川流域の浸水被害軽減効果が期待されます。



（写真1）事業推進委員会での説明

## 流域治水協議会で田んぼダム模型が活躍

令和七年七月八日、大仙市仙北ふれあい文化センターにおいて、第十四回雄物川圏域流域治水協議会作業部会が開催されました。

この会には「流域治水プロジェクト」に位置付けられた事業や取組を圏域内の関係機関で共有し、情報交換の場とするほか、そこで得た情報を基に圏域内で広く展開すること、流域治水活動の更なる推進や実践に繋げることを目的としています。



（写真2）田んぼダム模型による実演

【第10号】

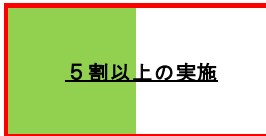
### 発行者

秋田県農林水産部  
農地整備課  
農地整備チーム  
TEL018-860-1824  
農山村振興課  
地域環境保全チーム  
TEL018-860-1853

まず、県仙北地域振興局農林部から、県・市町・土地改良区が連携し、田んぼダムの取組拡大を図っている事例を紹介し、その後、田んぼダム模型を用いた実演（写真2）で、取組による効果を説明しました。

意見交換では、参加者から「これまで田んぼダムの仕組みや効果についてイメージが湧かなかったが、模型実演によって効果が普及はつきりと分かった。普及拡大に向けた活動に役立ちたい」と田んぼダムの取組に前向きなコメントがありました。

【図1】活動組織



【図2】広域活動組織



凡例  
■ 田んぼダムの取組面積  
■ 組織の活動範囲  
■ 広域活動組織における支援対象

■ お問い合わせ先の電話番号  
（各地域振興局農林部農村整備課）

【鹿角】0186-23-2243  
【北秋田】0186-62-3900  
【山本】0185-52-1232  
【秋田】018-860-3394  
【由利】0184-22-7554  
【仙北】0187-63-6117  
【平鹿】0182-32-9509  
【雄勝】0183-73-6135

多面的機能支払交付金			
加算額	田 400円/10a (5年以上継続している活動組織は300円/10a)		
要件	① 資源向上支払の対象田面積で、田んぼダムを5割以上の面積で取り組むこと【図1】 ② 広域活動組織にあっては、加算措置に取り組む集落毎に田面積で5割以上取り組むこと【図2】		
農地耕作条件改善事業			
助成額 (定額)	畦畔補強 14.5万円/100m	田面排水柵 4.0万円/箇所	排水路 22万円/10m
要件	① 地区内の5割以上の面積で田んぼダムを実施 ② 水田貯留機能向上計画の策定 ③ 1地区あたりの事業費が200万円かつ受益者が農業者2名以上		
備考	○ 田面排水柵は「流量調整板」も対象となる		

田んぼダムを始めてみませんか？

新たに田んぼダムの取組を始めるには、ほ場整備事業のほか、左表などの支援を受けることができます。

詳しい内容等については、各地域振興局農林部農村整備課まで、お問い合わせください。